

## 計画案の主な修正点等について

※12月28日の有識者懇談会資料からの主な変更点は、以下のとおりです。

※変更点の内容は、1月15日にメールでお送りしたものと同内容です。

※このほか、事務局内での再検討により、細かな修正を行っております。

ページ	意見の区分	意見等の内容	修正内容等
8	教育委員協議会	指標やGIGAスクールで取得したデータに基づいて、子どもたちのつまずきに手を入れるなど、計画の中に、この計画がどこに向いているのかということ、どこかに明示してもらいたい。最終的には、子どもに多くが還元されるべき。	「PDCAサイクルの確立」の部分に、「各指標により、各学校や柏市全体の実態を把握することで、より子どもたちにとって必要な取組を実施できるよう努めていきます。」という文言を追加しました。
15	有識者懇談会	4つのCの規範意識の「決められたルールを守ることができる」は違和感がある。	「ルールが必要となる理由や、なぜ守らなければいけないかを考えることができる。」に変更しました。
15	事務局内	4つのC ・「相手の立場に立って考える力」の内容に、「発言や行動をすることができる」とあるが、これは行動の内容であり、「考える力」ではない。 ・「思いやり」の内容に、「声をかけることができる」とあるが、声をかけられたくないという場合もある。 ・「自己肯定感」は良いところだけでなく、悪いところも含めて、自分を受け入れるということである。	次のように文言を変更しました。 (1) 相手の立場に立って考える力 「自分が相手の立場だったら、どう思うかと想像することができる。」 (2) 思いやり 「誰に対しても、温かい心で接することができる。」 (3) 自己肯定感 「自分の長所・短所を含め、自分自身を認めることができる。」
21	事務局内	全国学力・学習状況調査の結果(標準化得点)について、目標値を全て100として良いか再度検討	同じ100点でも、99点に近い100点と、101点に近い100点があるため、小学校国語、小学校理科、中学校英語については、101点に変更しました。
24	教育委員協議会	教職員のICTに関する指導能力について、いち早くGIGAスクール構想に取り組んでいることを踏まえて、目標値を100%とすべきではないか。	B設問、C設問ともに100%に変更しました。
25	事務局内	学校図書館を利用した回数が、教科ごとの数字だと細かくなりすぎる。	小学校ごと、中学校ごとの数字(総数)に変更しました。
29	教育委員協議会	赤ちゃん抱っこ体験は、中学校では命の授業とし、性教育の意味合いが強くなっている。小学生のうちからも、自分の身を守るために、学年に応じた性教育がこれからは必要になってくると思うので、段階的、継続的な学習内容としての位置付けにならないか。	以下の理由から、修正なしとしました。  「現在は多くの子どもたちが第二次性徴を迎える中学生期に行くことで理解を深めやすいと考え、中2年齢で実施している学校がほとんどですが、今後は小学校の学習内容も鑑みながら、実施学年についても検討したいと考えています。よって、現時点では位置付けを決定し、計画に記載するのは難しいと考えています。」
30	教育委員協議会	「取り出し支援」「教室から取り出して」という表現に違和感がある。	「個別の学習支援」という文言に変更しました。
37	事務局内	医療的ケアコーディネーター、医療的ケア指導医を令和3年度から開始する。	・医療的ケアに関する事業名を「医療的ケア看護師の配置等」から「医療的ケアの体制整備」に変更しました。 ・内容として、「また、医療的ケアコーディネーターの配置及び医療的ケア指導医の学校派遣により、より安全・安心な医療的ケアの実現を目指します。」を追加
43	教育委員協議会	「安全・安心な給食の提供」に、できれば「おいしい」も追加してほしい。	「安全・安心でおいしい給食の提供」という文言に変更しました。
48	事務局内	スクールサポートスタッフについて、予算が付かなかった。	「スクールサポートスタッフ、校務補助員の配置」という事業名を「校務補助員の配置」に変更しました。
50	事務局内	「学校運営協議会の全小中学校設置を令和5年度までに完了します。」だと、形式的な設置のみを急ぐ計画となってしまう。	中身が伴った整備に努めていく趣旨で、「学校運営協議会の市立小中学校全校設置については、令和5年度までを目途とし、整備を進めていきます。」という文言に変更しました。
50	教育委員協議会	学校運営協議会、みんなの子育て広場、放課後こども教室、教育福祉会館の自律(立)という取組だが、どれも地域の力を必要としている。今なぜ地域や家庭の力が必要なのかということをもっと分かりやすく、いろいろな場で根気よく説明し、理解してもらう必要があると思う。理解をしていただければ少しずつ若い世代の協力者が得られていくのではないかと。そういうことを今後の事業とかに盛り込んでいただけないかと思う。	「◆ 地域学校協働活動の推進」の部分に、「このほか、地域学校協働活動の目的や内容等について、パンフレットや広報等を活用して周知を図り、学校・地域・家庭が一体となった地域学校協働活動への理解を進めていきます。」という文言を追加しました。